

放射性核種分析結果の表における「前年度までの測定値」の記載方法について（案）

1 概要

現在、「女川原子力発電所環境放射能調査結果」資料中の放射性核種分析結果の表において、「今期の測定値」とともに「前年度までの測定値」を福島第一原子力発電所事故（以下「福島第一原発事故」という。）前後で区分して最大値と最小値の範囲を示している。

今年度の協議会において、「福島第一原発事故の影響によって高い値となった測定値を含む同事故後の過去範囲と比較することはあまり意味がなく、近年の測定値と比較することが大事である。」との御意見をいただいたこと及び同事故から10年以上経過したことから、記載方法の変更について検討を行ったもの。

2 記載変更（案）

(1) 現在の「前年度までの測定値」の記載に基づく評価方法

放射性核種分析においては、依然として福島第一原発事故の影響が残っている試料もある状況である。

そのため、検出された核種について、まずは、同事故の影響がなかった同事故前の過去範囲に収まっていることをもって平常の変動であることを確認している。

同事故前の過去範囲を超過した場合は、女川原子力発電所の運転状況や他の核種の検出状況を確認するとともに、前年度までの測定値の推移を参考として同事故の影響やその他の要因の可能性も検討し、女川原子力発電所からの影響か否かを評価している。

(2) 記載変更に係る方針

- ① 福島第一原発事故の影響による高い測定値を除外した同事故後の過去範囲との比較ができること
- ② 同事故前の過去範囲との比較ができること

(3) 記載変更（案）検討

イ 方針①の福島第一原発事故の影響による高い測定値を除外する記載方法

- 案1：同事故の影響による高い測定値を除外した同事故後の過去範囲（以下「近年」という。）のみを記載する。

過去範囲は、セシウム137の月間降下量のトレンドグラフからその傾斜が緩やかになった平成28年度からとする。

記載例：(近年) H28～R4 の最小値～最大値

- 案2：直近5年とする。

記載例：(直近5年) H30～R4 の最小値～最大値

以上の2案が考えられるが、長期的な過去範囲で測定値の変動が比較できる第1案を採用したい。

ロ 方針②の同事故前の過去範囲との比較ができる記載方法

○ 案1-1：同事故前及び近年の2つの過去範囲を記載する。

記載例：(事故前) H2～H22 の最小値～最大値
(近年) H28～R4 の最小値～最大値

○ 案1-2：同事故前・事故後・近年の3つの過去範囲を記載する。

記載例：(事故前) H2～H22 の最小値～最大値
(事故後) H23～H27 の最小値～最大値
(近年) H28～R4 の最小値～最大値

○ 案1-3：同事故前及び近年の2つの過去範囲を記載する。

参考として同事故後の最大値を記載する。

記載例：(事故前) H2～H22 の最小値～最大値
(近年) H28～R4 の最小値～最大値
(参考：事故後)H23～H27 最大値

以上の3案が考えられるが、従来の測定値範囲を網羅でき、かつ、表が簡潔な第1-3案を採用したい。なお、変更は令和5年度実施分からとしたい。

(4) 記載変更後の評価方法

検出された核種について、まずは、福島第一原発事故の影響がなかった同事故前の過去範囲に収まっていることをもって平常の変動であることを確認することは従前と同様である。

同事故前の過去範囲を超過した場合は、女川原子力発電所の運転状況や他の核種の検出状況を確認するとともに、近年の過去範囲を参考に同事故の影響を受けた上での変動であるか否かを検討する。

さらに、近年の過去範囲も超過した場合は、長期的な測定値の推移を参考として同事故の影響やその他の要因の可能性も検討し、女川原子力発電所からの影響か否かを評価する。

現在

表-2-2 月間降下物（雨水・ちり）中の放射性核種分析結果*1

核種	令和4年度第3四半期測定値*2		前年度までの測定値*3 (上段) 平成2年度~平成23年2月 (下段) 平成23年3月~令和3年度		単位
	試料数	最小値~最大値	試料数	最小値~最大値	
Mn-54	9	N D	749	N D	Bq/m ²
Co-58		N D		N D	
Fe-59		N D		N D	
Co-60		N D		N D	
Cs-134		N D		N D	
Cs-137		N D~0.24		N D~0.14	
				N D~9248	

*1 N Dは検出下限値未満であることを示す。

*2 女川町浦宿浜(女川オフサイトセンター)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値を示し、対照地点(仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。

*3 女川町浦宿浜(女川宿舍及び女川オフサイトセンター)、旧原子力センター(女川)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値の範囲を福島第一原発事故の前後に分けて示し、対照地点(保健環境センター、旧原子力センター(仙台)及び仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。

表-2-5 環境試料の核種分析結果*1

対象物	試料名	核種	令和4年度第3四半期測定値		前年度までの測定値*2				単位
			試料数	最小値 ~ 最大値	平成2年度~平成22年度		平成23年度~令和3年度		
					最小値	最大値	最小値	最大値	
農産物	精米	Sr-90	2	N D	N D	~ 0.0089 *3	N D		Bq/kg生
		Cs-137	2	N D ~ 0.052	N D	~ 0.035 *3	0.016 ~ 0.214		
	大葉根	Cs-137	3	N D ~ 0.10	N D	~ 0.085	N D ~ 1.11		Bq/kg生
		Cs-137	3	N D	N D	~ 0.015	N D ~ 0.588		Bq/kg生
陸水	水道原水(飲料水)	H-3	1	N D	N D	~ 3200	N D ~ 610		mBq/L
		Cs-137	1	N D	N D		N D ~ 282		
陸土	未耕土	Sr-90	1	1.0	1.3	~ 1.6 *4	1.1 ~ 2.6		Bq/kg乾土
		Cs-137	1	166	N D	~ 13.1 *4	23.5 ~ 317		
浮遊じん	浮遊じん	Cs-137	14	N D	N D		N D ~ 23.70		mBq/m ³
指標植物	ヨモギ	Sr-90			0.065	~ 1.00	0.029 ~ 0.54		Bq/kg生
		Cs-137			N D	~ 0.17	0.29 ~ 40.1		
	松葉	Sr-90			0.86	~ 1.83	0.87 ~ 2.10		Bq/kg生
		Cs-137	3	0.237 ~ 0.33	N D	~ 0.74	0.219 ~ 1476		
魚介類	アイナメ	Sr-90	1	N D	N D	~ 0.011	N D		Bq/kg生
		Cs-137	1	0.131	0.062	~ 0.21	0.12 ~ 10.16		
	マガキ	Sr-90	1	N D	N D		N D ~ 0.034		Bq/kg生
		Cs-137	4	N D ~ 0.029	N D	~ 0.058	N D ~ 1.13		
	マボヤ	Sr-90			N D		N D		Bq/kg生
		Cs-137			N D	~ 0.054	N D ~ 0.74		
エゾアワビ	Cs-137	1	N D	N D	~ 0.053	N D ~ 0.22		Bq/kg生	
キタムラサキウニ	Cs-137			N D	~ 0.063 *5	0.035 ~ 1.66		Bq/kg生	
海藻	ワカメ	Sr-90			N D	~ 0.081	N D ~ 0.062		Bq/kg生
		Cs-137			N D	~ 0.080	N D ~ 2.39		
海水	表層水	H-3	1	N D	N D	~ 670	N D		mBq/L
		Sr-90			N D	~ 2.9	1.4 ~ 3.6		
		Cs-137	4	N D	N D	~ 4.1	N D ~ 98		
海底土	表層土(砂)	Sr-90	1	N D	N D		N D		Bq/kg乾土
		Cs-137	4	N D ~ 8.2	N D	~ 2.6	N D ~ 299		
指標海産物	アラメ	Sr-90			N D	~ 0.073	N D ~ 0.046		Bq/kg生
		Cs-137	3	N D ~ 0.14	N D	~ 0.16	N D ~ 12.76		
	エゾノネジモク	Sr-90			-		N D ~ 0.061		Bq/kg生
		Cs-137			-		N D ~ 0.13 *6		
	ムラサキイガイ	Sr-90			N D		N D		Bq/kg生
		Cs-137	1	N D	N D	~ 0.096	N D ~ 0.54		

*1 Cs-137、Sr-90及びH-3の測定値を示し、対照地点で採取された試料並びに迅速法による海水、アラメ及びエゾノネジモクの測定値を除く。なお、N Dは検出下限値未満であることを示す。

*2 福島第一原発事故の前後に分けて示す。

*3 平成11年度の測定基本計画変更によって測定地点が谷川浜のみとされたため、精米の平成2年度~22年度については谷川浜における測定値の範囲を示す。

*4 平成21年度の測定実施計画変更によって測定地点が変更されたため、平成21年度~22年度における測定値の範囲を示す。

*5 平成11年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、平成11年度~22年度における測定値の範囲を示す。

*6 令和元年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、令和元年度~3年度における測定値の範囲を示す。

案1イメージ
※今期測定値は仮の値

表-2-2 月間降下物（雨水・ちり）中の放射性核種分析結果*1

核種	令和5年度第1四半期測定値*2		前年度までの測定値*3		単位
	試料数	最小値～最大値	平成28年度～令和4年度		
			試料数	最小値～最大値	
Mn-54	9	N D	252	N D	Bq/m ²
Co-58		N D		N D	
Fe-59		N D		N D	
Co-60		N D		N D	
Cs-134		N D		N D～0.47	
Cs-137		N D～0.24		N D～6.93	

*1 N Dは検出下限値未満であることを示す。
 *2 女川町浦宿浜(女川オフサイトセンター)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値を示し、対照地点（仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター)）の測定値を除く。
 *3 女川町浦宿浜(女川宿舎及び女川オフサイトセンター)、旧原子力センター（女川）、小屋取及び牡鹿ゲートにおける福島第一原発事故の影響による高い測定値を除外した平成28年度から前年度までの測定値の範囲を示し、対照地点（保健環境センター、旧原子力センター（仙台）及び仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター)）の測定値を除く。

表-2-5 環境試料の核種分析結果*1

案1イメージ
※測定値は仮の値

対象物	試料名	核種	令和5年度第1四半期測定値		前年度までの測定値*2		単位
			試料数	最小値 ~ 最大値	平成28年度~令和4年度		
					最小値	最大値	
農産物	精米	Sr-90	2	N D	N D		Bq/kg生
		Cs-137	2	N D ~ 0.052	0.016	0.112	
	大葉根	Cs-137	3	N D ~ 0.10	N D	0.17	Bq/kg生
		Cs-137	3	N D	N D	0.019	Bq/kg生
陸水	水道原水(飲料水)	H-3	1	N D	N D	450	mBq/L
		Cs-137	1	N D	N D	8.5	
陸土	未耕土	Sr-90	1	1.0	1.1	1.2	Bq/kg乾土
		Cs-137	1	166	23.5	317	
浮遊じん	浮遊じん	Cs-137	14	N D	N D	0.015	mBq/m ³
指標植物	ヨモギ	Sr-90			0.088	0.25	Bq/kg生
		Cs-137			0.29	2.64	
	松葉	Sr-90			0.87	1.28	Bq/kg生
		Cs-137	3	0.237 ~ 0.33	0.219	2.33	
魚介類	アイナメ	Sr-90	1	N D	N D		Bq/kg生
		Cs-137	1	0.131	0.12	0.21	
	マガキ	Sr-90	1	N D	N D		Bq/kg生
		Cs-137	4	N D ~ 0.029	N D	0.1	
	マボヤ	Sr-90			N D		Bq/kg生
		Cs-137			N D	0.53	
エソアワビ	Cs-137	1	N D	N D	0.082	Bq/kg生	
キタムラサキウニ	Cs-137			0.035	0.121	Bq/kg生	
海藻	ワカメ	Sr-90			N D	0.062	Bq/kg生
		Cs-137			N D	0.15	
海水	表層水	H-3	1	N D	N D		mBq/L
		Sr-90			1.4	2.8	
		Cs-137	4	N D	N D	4.2	
海底土	表層土(砂)	Sr-90	1	N D	N D		Bq/kg乾土
		Cs-137	4	N D ~ 8.2	N D	47.2	
指標海産物	アラメ	Sr-90			N D	0.046	Bq/kg生
		Cs-137	3	N D ~ 0.14	N D	0.16	
	エソノネジモク	Sr-90			N D	0.061	Bq/kg生
		Cs-137			N D	0.13 *3	
	ムラサキイガイ	Sr-90			N D		Bq/kg生
		Cs-137	1	N D	N D	0.1	

*1 Cs-137、Sr-90及びH-3の測定値を示し、対照地点で採取された試料並びに迅速法による海水、アラメ及びエソノネジモクの測定値を除く。なお、N Dは検出下限値未満であることを示す。

*2 福島第一原発事故の影響による高い測定値を除外した平成28年度~令和4年度における測定値の範囲を示す。

*3 令和元年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、令和元年度~4年度における測定値の範囲を示す。

案2イメージ
※今期測定値は仮の値

表-2-2 月間降下物（雨水・ちり）中の放射性核種分析結果*1

核種	令和5年度第1四半期測定値*2		前年度までの測定値*3		単位
	試料数	最小値～最大値	平成30年度～令和4年度 (直近5年間)		
			試料数	最小値～最大値	
Mn-54	9	N D	180	N D	Bq/m ²
Co-58		N D		N D	
Fe-59		N D		N D	
Co-60		N D		N D	
Cs-134		N D		N D～0.40	
Cs-137		N D～0.24		N D～6.93	

*1 N Dは検出下限値未満であることを示す。

*2 女川町浦宿浜(女川オフサイトセンター)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値を示し、対照地点(仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。

*3 女川町浦宿浜(女川宿舎及び女川オフサイトセンター)、旧原子力センター(女川)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける直近5年の測定値の範囲を示し、対照地点(保健環境センター、旧原子力センター(仙台)及び仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。

表-2-5 環境試料の核種分析結果*1

案2イメージ
※測定値は仮の値

対象物	試料名	核種	令和5年度第1四半期測定値		前年度までの測定値*2 平成30年度～令和4年度 (直近5年間)		単位
			試料数	最小値 ~ 最大値	最小値	~ 最大値	
農産物	精米	Sr-90	2	N D		N D	Bq/kg生
		Cs-137	2	N D ~ 0.052	0.016	~ 0.083	
	大葉根	Cs-137	3	N D ~ 0.10	N D	~ 0.17	Bq/kg生
		Cs-137	3	N D	N D	~ 0.019	Bq/kg生
陸水	水道原水 (飲料水)	H-3	1	N D	N D	~ 350	mBq/L
		Cs-137	1	N D	N D	~ 8.5	
陸土	未耕土	Sr-90	1	1.0	1.1	~ 1.2	Bq/kg乾土
		Cs-137	1	166	23.5	~ 317	
浮遊じん	浮遊じん	Cs-137	14	N D	N D	~ 0.015	mBq/m ³
指標植物	ヨモギ	Sr-90			0.088	~ 0.25	Bq/kg生
		Cs-137			0.29	~ 0.97	
	松葉	Sr-90			0.87	~ 1.28	Bq/kg生
		Cs-137	3	0.237 ~ 0.33	0.219	~ 1	
魚介類	アイナメ	Sr-90	1	N D		N D	Bq/kg生
		Cs-137	1	#####	0.12	~ 0.21	
	マガキ	Sr-90	1	N D		N D	Bq/kg生
		Cs-137	4	N D ~ 0.029	N D	~ 0.072	
	マボヤ	Sr-90				N D	Bq/kg生
		Cs-137				N D ~ 0.53	
	エゾアワ	Cs-137	1	N D	N D	~ 0.068	Bq/kg生
キタムラサキウニ	Cs-137			0.035	~ 0.11	Bq/kg生	
海藻	ワカメ	Sr-90			N D	~ 0.062	Bq/kg生
		Cs-137			N D	~ 0.071	
海水	表層水	H-3	1	N D		N D	mBq/L
		Sr-90			1.4	~ 2.8	
		Cs-137	4	N D	N D	~ 3.3	
海底土	表層土 (砂)	Sr-90	1	N D		N D	Bq/kg乾土
		Cs-137	4	N D ~ 8.2	N D	~ 22.6	
指標海産物	アラメ	Sr-90			N D	~ 0.046	Bq/kg生
		Cs-137	3	N D ~ 0.14	N D	~ 0.16	
	エゾノネジモク	Sr-90			N D	~ 0.061	Bq/kg生
		Cs-137			N D	~ 0.13 *3	
	ムラサキイガイ	Sr-90				N D	Bq/kg生
Cs-137		1	N D	N D	~ 0.077		

*1 Cs-137、Sr-90及びH-3の測定値を示し、対照地点で採取された試料並びに迅速法による海水、アラメ及びエゾノネジモクの測定値を除く。なお、N Dは検出下限値未満であることを示す。

*2 直近5年の測定値の範囲を示す。

*3 令和元年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、令和元年度～4年度における測定値の範囲を示す。

案 1-1 イメージ
※今期測定値は仮の値

表-2-2 月間降下物（雨水・ちり）中の放射性核種分析結果*

核種	令和5年度第1四半期測定値*2		前年度までの測定値*3,4		単位	
	試料数	最小値～最大値	(上段) 平成2年度～平成23年2月			
			(下段) 平成28年度～令和4年度			
			試料数	最小値～最大値		
Mn-54	9	N D	749	N D	Bq/m ²	
Co-58		N D		N D		
Fe-59		N D		N D		
Co-60		N D		N D		
Cs-134		N D		N D		
Cs-137		N D～0.24		N D～0.47		N D～0.14
				N D～6.93		N D～6.93

*1 N Dは検出下限値未満であることを示す。

*2 女川町浦宿浜(女川オフサイトセンター)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値を示し、対照地点(仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。

*3 女川町浦宿浜(女川宿舍及び女川オフサイトセンター)、旧原子力センター(女川)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値の範囲を示し、対照地点(保健環境センター、旧原子力センター(仙台)及び仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。

*4 測定値の範囲は福島第一原発事故の前後に分けて示し、同事故後は同事故の影響による高い測定値を除外した平成28年から前年度までとする。

表-2-5 環境試料の核種分析結果*1

対象物	試料名	核種	令和5年度第1四半期測定値		前年度までの測定値*2				単位
			試料数	最小値 ~ 最大値	平成2年度~平成22年度		平成28年度~令和4年度		
					最小値	最大値	最小値	最大値	
農産物	精米	Sr-90	2	N D	N D	~ 0.0089 *3	N D		Bq/kg生
		Cs-137	2	N D ~ 0.052	N D	~ 0.035 *3	0.016 ~ 0.112		
	大葉根	葉	Cs-137	3	N D ~ 0.10	N D	~ 0.085	N D ~ 0.17	Bq/kg生
		根	Cs-137	3	N D	N D	~ 0.015	N D ~ 0.019	Bq/kg生
陸水	水道原水(飲料水)	H-3	1	N D	N D	~ 3200	N D ~ 450	mBq/L	
		Cs-137	1	N D	N D		N D ~ 8.5		
陸土	未耕土	Sr-90	1	1.0	1.3	~ 1.6 *4	1.1 ~ 1.2	Bq/kg乾土	
		Cs-137	1	166	N D	~ 13.1 *4	23.5 ~ 317		
浮遊じん	浮遊じん	Cs-137	14	N D	N D		N D ~ 0.015	mBq/m ³	
指標植物	ヨモギ	Sr-90			0.065	~ 1.00	0.088 ~ 0.25	Bq/kg生	
		Cs-137			N D	~ 0.17	0.29 ~ 2.64		
	松葉	Sr-90			0.86	~ 1.83	0.87 ~ 1.28	Bq/kg生	
		Cs-137	3	0.237 ~ 0.33	N D	~ 0.74	0.219 ~ 2.33		
魚介類	アイナメ	Sr-90	1	N D	N D	~ 0.011	N D	Bq/kg生	
		Cs-137	1	0.131	0.062	~ 0.21	0.12 ~ 0.21		
	マガキ	Sr-90	1	N D	N D		N D	Bq/kg生	
		Cs-137	4	N D ~ 0.029	N D	~ 0.058	N D ~ 0.1		
	マボヤ	Sr-90			N D		N D	Bq/kg生	
		Cs-137			N D	~ 0.054	N D ~ 0.53		
エゾアワビ	Cs-137	1	N D	N D	~ 0.053	N D ~ 0.082	Bq/kg生		
キタムラサキウニ	Cs-137			N D	~ 0.063 *5	0.035 ~ 0.121	Bq/kg生		
海藻	ワカメ	Sr-90			N D	~ 0.081	N D ~ 0.062	Bq/kg生	
		Cs-137			N D	~ 0.080	N D ~ 0.15		
海水	表層水	H-3	1	N D	N D	~ 670	N D	mBq/L	
		Sr-90			N D	~ 2.9	1.4 ~ 2.8		
		Cs-137	4	N D	N D	~ 4.1	N D ~ 4.2		
海底土	表層土(砂)	Sr-90	1	N D	N D		N D	Bq/kg乾土	
		Cs-137	4	N D ~ 8.2	N D	~ 2.6	N D ~ 47.2		
指標海産物	アラメ	Sr-90			N D	~ 0.073	N D ~ 0.046	Bq/kg生	
		Cs-137	3	N D ~ 0.14	N D	~ 0.16	N D ~ 0.16		
	エゾノネジモク	Sr-90			-		N D ~ 0.061	Bq/kg生	
		Cs-137			-		N D ~ 0.13 *3		
	ムラサキイガイ	Sr-90			N D		N D	Bq/kg生	
Cs-137	1	N D	N D	~ 0.096	N D ~ 0.1				

*1 Cs-137、Sr-90及びH-3の測定値を示し、対照地点で採取された試料並びに迅速法による海水、アラメ及びエゾノネジモクの測定値を除く。なお、N Dは検出下限値未満であることを示す。

*2 福島第一原発事故の前後に分けて示し、同事故後は同事故の影響による高い測定値を除外した平成28年度~令和4年度における測定値の範囲を示す。

*3 平成11年度の測定基本計画変更によって測定地点が谷川浜のみとされたため、精米の平成2年度~22年度については谷川浜における測定値の範囲を示す。

*4 平成21年度の測定実施計画変更によって測定地点が変更されたため、平成21年度~22年度における測定値の範囲を示す。

*5 平成11年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、平成11年度~22年度における測定値の範囲を示す。

*6 令和元年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、令和元年度~4年度における測定値の範囲を示す。

案 1-2 イメージ
※今期測定値は仮の値

表-2-2 月間降下物（雨水・ちり）中の放射性核種分析結果*1

核種	令和5年度第1四半期測定値		前年度までの測定値*3,4				単位
	試料数	最小値～最大値	平成2年度～平成23年2月		(上段)平成23年3月～平成27年度 (下段)平成28年度～令和4年度		
			試料数	最小値～最大値	試料数	最小値～最大値	
Mn-54	9	N D	749	N D	174	N D	Bq/m ²
Co-58		N D		N D		N D	
Fe-59		N D		N D		N D	
Co-60		N D		252	N D	N D	
Cs-134		N D			N D	N D～9329 N D～0.47	
Cs-137		N D～0.24		N D～0.14	N D～9248 N D～6.93		

*1 N Dは検出下限値未満であることを示す。

*2 女川町浦宿浜(女川オフサイトセンター)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値を示し、対照地点(仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。

*3 女川町浦宿浜(女川宿舍及び女川オフサイトセンター)、旧原子力センター(女川)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値の範囲を示し、対照地点(保健環境センター、旧原子力センター(仙台)及び仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。

*4 測定値の範囲は福島第一原発事故の前後に分けて示し、同事故後は同事故の影響による高い測定値を含む平成23年3月から平成27年度までと、同事故の影響による高い測定値を除外した平成28年から前年度までに分けて示す。

表-2-5 環境試料の核種分析結果*

案1-2イメージ
※測定値は仮の値

対象物	試料名	核種	令和5年度第1四半期測定値				前年度までの測定値 ^{*2}				単位
			試料数	最小値 ~ 最大値		最小値 ~ 最大値		(上段) 平成23年度~平成27年度 (下段) 平成28年度~令和4年度			
				最小値	最大値	最小値	最大値	最小値	最大値		
農産物	大 精米	Sr-90	2	N D		N D ~ 0.0089 ^{*3}		N D N D		Bq/kg生	
		Cs-137	2	N D ~ 0.052		N D ~ 0.035 ^{*3}		0.059 ~ 0.214 0.016 ~ 0.112			
	根 葉	Cs-137	3	N D ~ 0.10		N D ~ 0.085		0.034 ~ 1.11 N D ~ 0.17		Bq/kg生	
		Cs-137	3	N D		N D ~ 0.015		N D ~ 0.588 N D ~ 0.019			
陸 水	水道原水 (飲料水)	H-3	1	N D		N D ~ 3200		N D ~ 610 N D ~ 450		mBq/L	
		Cs-137	1	N D		N D		N D ~ 282 N D ~ 8.5			
陸 土	未耕土	Sr-90	1	1.0		1.3 ~ 1.6 ^{*4}		1.3 ~ 2.6 1.1 ~ 1.2		Bq/kg乾土	
		Cs-137	1	166		N D ~ 13.1 ^{*4}		62.9 ~ 310 23.5 ~ 317			
浮遊じん	浮遊じん	Cs-137	14	N D		N D		N D ~ 23.70 N D ~ 0.015		mBq/m ³	
指標植物	ヨモギ	Sr-90				0.065 ~ 1.00		0.029 ~ 0.54 0.088 ~ 0.25		Bq/kg生	
		Cs-137				N D ~ 0.17		1.38 ~ 40.1 0.29 ~ 2.64			
	松葉	Sr-90				0.86 ~ 1.83		0.91 ~ 2.10 0.87 ~ 1.28		Bq/kg生	
		Cs-137	3	0.237 ~ 0.33		N D ~ 0.74		1.38 ~ 1476 0.219 ~ 0.21			
魚介類	アイナメ	Sr-90	1	N D		N D ~ 0.011		N D N D		Bq/kg生	
		Cs-137	1	0.131		0.062 ~ 0.21		0.169 ~ 10.16 0.12 ~ 0.21			
	マガキ	Sr-90	1	N D		N D		N D ~ 0.034 N D		Bq/kg生	
		Cs-137	4	N D ~ 0.029		N D ~ 0.058		N D ~ 1.13 N D ~ 0.1			
	マボヤ	Sr-90				N D		N D N D		Bq/kg生	
		Cs-137				N D ~ 0.054		N D ~ 0.74 N D ~ 0.53			
	エゾアワビ	Cs-137	1	N D		N D ~ 0.053		N D ~ 0.22 N D ~ 0.082		Bq/kg生	
	キタムラサキウニ	Cs-137				N D ~ 0.063 ^{*5}		0.086 ~ 1.66 0.035 ~ 0.121		Bq/kg生	
海 藻	ワカメ	Sr-90				N D ~ 0.081		N D ~ 0.062 N D ~ 0.062		Bq/kg生	
		Cs-137				N D ~ 0.080		N D ~ 2.39 N D ~ 0.15			
海 水	表層水	H-3	1	N D		N D ~ 670		N D N D		mBq/L	
		Sr-90				N D ~ 2.9		1.7 ~ 3.6 1.4 ~ 2.8			
		Cs-137	4	N D		N D ~ 4.1		2.1 ~ 98 N D ~ 4.2			
海底土	表層土 (砂)	Sr-90	1	N D		N D		N D N D		Bq/kg乾土	
		Cs-137	4	N D ~ 8.2		N D ~ 2.6		N D ~ 299 N D ~ 47.2			
指標海産物	アラメ	Sr-90				N D ~ 0.073		N D ~ 0.042 N D ~ 0.046		Bq/kg生	
		Cs-137	3	N D ~ 0.14		N D ~ 0.16		N D ~ 12.76 N D ~ 0.16			
	エゾノ ネジモク	Sr-90				-		N D ~ 0.061 -		Bq/kg生	
		Cs-137				-		N D ~ 0.13 ^{*6} -			
	ムラサキ イガイ	Sr-90				N D		N D N D		Bq/kg生	
		Cs-137	1	N D		N D ~ 0.096		0.050 ~ 0.54 N D ~ 0.1			

*1 Cs-137、Sr-90及びH-3の測定値を示し、対照地点で採取された試料並びに迅速法による海草、アラメ及びエゾアワビ等の測定値を除く。なお、N Dは検出下限値未満であることを示す。
 *2 福島第一原発事故の前後に分けて示し、同事故後は同事故の影響による高い測定値を含む平成23年3月~27年度における測定値の範囲と、同事故の影響による高い測定値を除外した平成28年度~令和4年度における測定値の範囲までに分けて示す。
 *3 平成11年度の測定基本計画変更によって測定地点が谷川浜のみとされたため、精米の平成22年度~22年度については谷川浜における測定値の範囲を示す。
 *4 平成21年度の測定実施計画変更によって測定地点が変更されたため、平成21年度~22年度における測定値の範囲を示す。
 *5 平成11年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、平成11年度~22年度における測定値の範囲を示す。
 *6 令和元年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、令和元年度~4年度における測定値の範囲を示す。

案 1-3 イメージ
※今期測定値は仮の値

表 2-2 月間降下物（雨水・ちり）中の放射性核種分析結果*1

核種	令和 5 年度第 1 四半期測定値*2		前年度までの測定値*3,4			単位
	試料数	最小値～最大値	(上段) 平成 2 年度～平成 2 3 年 2 月 (下段) 平成 2 8 年度～令和 4 年度		(参考) 福島第一原発事故 後 5 年間の最大値*5	
			試料数	最小値～最大値		
Mn- 54	9	N D	749	N D	N D	Bq/m ²
Co- 58		N D		N D		
Fe- 59		N D		N D		
Co- 60		252	N D	N D	9329	
Cs-134			N D	N D		
Cs-137			N D～0.24	N D～0.14 N D～6.93		

- *1 N D は検出下限値未満であることを示す。
- *2 女川町浦宿浜(女川オフサイトセンター)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値を示し、対照地点(仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。
- *3 女川町浦宿浜(女川宿舎及び女川オフサイトセンター)、旧原子力センター(女川)、小屋取及び牡鹿ゲートにおける測定値の範囲を福島第一原発事故の前後に分けて示し、対照地点(保健環境センター、旧原子力センター(仙台)及び仙台市宮城野区幸町(環境放射線監視センター))の測定値を除く。
- *4 測定値の範囲は福島第一原発事故の前後に分けて示し、同事故後は同事故の影響による高い測定値を除外した平成 2 8 年から前年度までを示す。
- *5 平成 2 3 年度から平成 2 7 年度までの期間の最大値。

表-2-5 環境試料の核種分析結果*

案1-3イメージ
※測定値は仮の値

対象物	試料名	核種	令和5年度第1四半期測定値			前年度までの測定値 ^{*2}			単位	
			試料数	最小値	～	最大値	(上段)平成22年度～平成22年度 (下段)平成28年度～令和4年度			
							最小値	～		最大値
農産物	精米	Sr-90	2	N D		N D	～	0.0089 ^{*4}	Bq/kg生	
		Cs-137	2	N D	～	0.052	N D	～		0.035 ^{*4}
	大葉根	Cs-137	3	N D	～	0.10	N D	～	0.085	Bq/kg生
		Cs-137	3	N D	～	0.10	N D	～	0.17	Bq/kg生
陸水	水道原水 (飲料水)	H-3	1	N D		N D	～	3200	mBq/L	
		Cs-137	1	N D		N D	～	450		
陸土	未耕土	Sr-90	1	1.0		1.3	～	1.6 ^{*5}	Bq/kg乾土	
		Cs-137	1	166		N D	～	13.1 ^{*5}		
浮遊じん	浮遊じん	Cs-137	14	N D		N D	～	0.015	mBq/m ³	
指標植物	ヨモギ	Sr-90				0.065	～	1.00	Bq/kg生	
		Cs-137				0.088	～	0.25		
	松葉	Sr-90				N D	～	0.17	Bq/kg生	
		Cs-137	3	0.237	～	0.33	0.29	～		2.64
魚介類	アイナメ	Sr-90	1	N D		N D	～	0.011	Bq/kg生	
		Cs-137	1	0.131		0.062	～	0.21		
	マガキ	Sr-90	1	N D		N D	～	N D	Bq/kg生	
		Cs-137	4	N D	～	0.029	N D	～		0.058
	マボヤ	Sr-90				N D	～	N D	Bq/kg生	
		Cs-137				N D	～	0.054		
	エゾアワビ	Sr-90				N D	～	0.053	Bq/kg生	
		Cs-137	1	N D		N D	～	0.082		
キタムラサキウニ	Sr-90				N D	～	0.063 ^{*6}	Bq/kg生		
	Cs-137				0.035	～	0.121			
海藻	ワカメ	Sr-90				N D	～	0.081	Bq/kg生	
		Cs-137				N D	～	0.062		
海水	表層水	H-3	1	N D		N D	～	670	mBq/L	
		Sr-90				N D	～	2.9		
		Cs-137	4	N D		N D	～	4.1		
海底土	表層土 (砂)	Sr-90	1	N D		N D	～	N D	Bq/kg乾土	
		Cs-137	4	N D	～	8.2	N D	～		2.6
指標海産物	アラメ	Sr-90				N D	～	0.073	Bq/kg生	
		Cs-137	3	N D	～	0.14	N D	～		0.046
	エゾノネジモク	Sr-90				N D	～	0.061	Bq/kg生	
		Cs-137				N D	～	0.13 ^{*7}		
	ムラサキイガイ	Sr-90				N D	～	N D	Bq/kg生	
		Cs-137	1	N D		N D	～	0.096		

*1 Cs-137、Sr-90及びH-3の測定値を示し、対照地点で採取された試料並びに迅速法による海水、アラメ及びエゾノネジモクの測定値を除く。なお、N Dは検出下限値未満であることを示す。

*2 測定値の範囲は福島第一原発事故の前後に分けて示し、同事故後は同事故の影響による高い測定値を除外した平成28年度～令和4年度における測定値の範囲を示す。

*3 参考として平成23年度～27年度における測定値の最大値を示す。

*4 平成11年度の測定基本計画変更によって測定地点が谷川浜のみとされたため、精米の平成22年度～22年度については谷川浜における測定値の範囲を示す。

*5 平成21年度の測定実施計画変更によって測定地点が変更されたため、平成21年度～22年度における測定値の範囲を示す。

*6 平成11年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、平成11年度～22年度における測定値の範囲を示す。

*7 令和元年度の測定基本計画変更によって追加された試料であるため、令和元年度～4年度における測定値の範囲を示す。